

2026 年度事業活動計画(案)

I. はじめに

「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」(以下、「ネット 2 1 運動」)は、個別企業の労使では解決が難しい問題や地域での生活・暮らしに関わる様々な悩みや問題の解決をはかるために、地域の N P O や市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと中央労働金庫やこくみん共済 coop、生協などの協同組織の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

2026 年度については、連合埼玉・埼玉労福協・福祉事業団体はもとより、地域協議会や地域労福協をはじめ、地域で活動する N P O とともに連携・協働して、以下の事業活動を進めていきます。

1. ライフサポート・プログラム
 - ・ 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催
 - ・ 生活困窮者等への支援
2. 地域活動サポート・プログラム
 - ・ 自然環境ボランティアの促進、自然環境体験事業(尾瀬)
 - ・ 地域活動参加促進事業
3. N P O サポート・プログラム
 - ・ N P O 支援事業
 - 「N P O 応援・物品助成プログラム」
 - 「N P O 応援・少額(物品等)助成プログラム」
 - ・ N P O 活動への理解と具体的な参加をサポートするセミナーの開催
4. 「ネット 2 1 運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動
5. 「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」設立 20 周年記念誌の作成

II. 基本事業活動計画

1. ライフサポート・プログラム
 - (1) 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

出前方式(講師の派遣)で開催する勤労者の生活・暮らしに役立つ各種セミナーは、連合埼玉の構成組織・加盟組合や地域協議会・地域労福協、埼玉シニア連合、労働者福祉事業団体など各組織で開催されています。今後も各組織・団体での更なる利用促進をはかっていきます。

 - ① 連合埼玉構成組織・加盟組合・地域協議会、地域労福協、労働者福祉事業団体、各 O B 組織、埼玉シニア連合などでの利用促進。
 - ② 「暮らし応援セミナー」プログラムの拡充と講師陣リストの適宜見直し
 - (2) 生活困窮者等への支援

勤労者のライフサポート(生活・暮らしサポート)の観点から、生活困窮者などへの支援に取り組む団体などと連携し、必要な支援をおこなっていきます。本年度は、これまで継続して実施してきた N P O 法人フードバンク埼玉をつうじた生活困窮者への支援をおこなっていきます。
2. 地域活動サポート・プログラム
 - (1) 自然環境ボランティアの促進、自然環境体験事業(尾瀬)
 - ① 「夏休み親子・ファミリー自然体験プラン in 尾瀬」

夏休み・親子をキーワードとしつつも、夫婦などファミリーも対象とする自然環境

体験、ボランティア活動（ゴミ拾い）などを企画していきます。今年度も、尾瀬国立公園内の山小屋に宿泊し、親子・夫婦・家族で自然体験をおこなっていただく企画を立案します。（計 10 家族程度 ＊スタッフ除く） 実施予定【7 月 18 日・19 日】

（2）地域活動参加促進事業

地域活動を推進するためには、地域の N P O や市民団体と連携・協働した取り組みが必要不可欠であり、労働組合役員・組合員が地域の N P O や市民団体に、関心を持ち、そして関わり合いを持ち、そして参加から協働へと行動を移していくことが重要と考えています。

そのような中、個々の意識・行動を「関心から協働した活動へ変革させる」ことを目的に、地域活動参加促進事業を展開します。

協働する地域の N P O や市民団体の選定にあたっては、N P O の活動分野である 20 分野の中から、「まちづくりの推進を図る活動」「地域の振興を図る活動」「環境保全を図る活動」「子どもの健全育成を図る活動」「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」「文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動」の 6 つの分野をおこなっている団体を基本とします。 実施予定【調整中】

3. N P O サポート・プログラム

（1）N P O 支援事業

地域で活動・活躍する N P O などへの支援と連携を目的とする事業を展開します。

① N P O 応援・物品助成プログラム

子育て・教育・介護など、様々な分野で活動している N P O ・市民活動団体を応援・支援するためのプログラムです。「ネット 2 1 運動」の運動目的や理念との共通性など推薦および応募により総合的に評価し、ノートパソコン 10 台を贈呈します。

② N P O 応援・少額（物品等）助成プログラム

助成プログラムの実施にあたっては、地域でさまざまな支援活動（子育て、介護、障害者、生活困窮者などの支援）をおこなっている団体で、物品購入が財政的に厳しく（困窮性）・緊急性がある場合に実施します。なお、予算としては年間 20 万円（1 件当たり 4 万円を上限）として、連合埼玉や埼玉労福協・福祉事業団体・N P O 団体からの推薦にて、運営委員会で審査の上、実施（助成）します。

③ パソコン寄贈団体への訪問・意見交換

2024 年度寄贈 9 団体および 2025 年度の寄贈団体 8 団体に対し、パソコンの活用方法や団体の主な活動および政策提言における課題などについて意見交換を実施し、活動の相互理解と連携をはかっていきます。

④ N P O 活動への理解と具体的な参加（社会参加）をサポートする事業

2018 年度から「社会連帯」「共生社会」の実現に向けて、N P O と労働組合が地域で連携を深めることを目的とした「地域セミナー」を、東西南北の 4 地域にわけて開催してきました。今年度も「さいたま N P O センター」との協働事業とした「地域セミナー」を企画・実施します。なお、開催地域については、西部地域と南部地域で開催します。 実施予定日【西部地域 12 月、南部地域 12 月】

⑤ N P O 活動への支援

ワーキングケアラーなどのケアラー支援を積極的に取り組んでいる N P O との協働をつうじて、介護に悩むワーキングケアラーなどの支援をおこないます。

4. 「ネット 2 1 運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

（1）「ワンコイン（500 円）運動」の展開による、「ネット 2 1 運動」と「ボランティア・

カード」の普及拡大に取り組みます。

①各組織・団体での年間を通しての勉強会・説明会の促進

②NPOや外部団体などへの「ボランティア・カード」の積極的な展開

(2)「協賛企業」、ボランティア・カード契約店の拡充

県内を中心に、飲食店やレジャー、福祉サービスなどを提供する企業・団体との契約拡大に努めていきます。また、地域の利用拡大を目指すことから、組合役員による情報提供などをつうじた協賛企業を増やす取り組みをおこないます。

(3)「ネット21運動」の広報・宣伝活動の強化

「ネット21運動」の活動について、広く県民の皆様に広報・宣伝をおこない、賛同していただける個人や協賛企業などを増やしていくことが重要と考えています。そのためには、HPを見やすく、わかりやすいものへ更新するとともに、タイムリーな情報アップをおこないます。

また、運営団体の媒体などによる「ネット21運動」の紹介依頼をおこないます。加えて、「暮らし応援セミナー」主催者による参加者へのPRなどの依頼をおこないます。

5.「ネットワークSAITAMA21運動」設立20周年記念誌の発行

これまでの活動を振り返り、次世代のために設立からの記録を残すとともに、今後の「ネット21運動」の発展につなげることを目的として、記念誌を発行します。

発行予定【2026年6月】

以 上